

浜中学校マニフェスト(中期学校運営計画)

計画期間

平成18年度12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標

未来を見つめ

まちとともに生きる子どもたちのために

愛する心を育てます。

生きる力を伸ばします。

支え合う気持ちを大切にします。

学校経営方針

1. 教育効果の一層の向上を目指し、教育諸条件の整備・充実に努めます。
2. 教職員はそれぞれが専門性を発揮し、互いに切磋琢磨し、たくましく、心豊かな生徒の育成をめざし、家庭・地域・社会の信託に応えるべく、不撓不屈の精神で教育活動の育成を展開します。
3. 個を重視した授業の展開をめざし、生徒の可能性を最大限伸ばせるよう、授業の効率化と指導法の研究を促進します。
4. 生徒活動の充実をはかり、人と人とのふれあいを大切に、心身共に健康で、正しい判断・行動のとれる生徒の育成に努めます。

指導の重点

1. 授業の充実をはかるため、教育内容・方法・教材・教具の研究、工夫をし、また個別化をとり入れた指導法を実践します。
2. 個別指導の徹底をはかり、生徒理解と援助指導の充実をはかります。
3. 生徒指導の共通理解を徹底し、情報交換を密にするとともに、積極的な生徒指導に努めます。
4. 生徒の良好な人間関係を育み、思いやりの心を育て、いじめ、暴力行為の根絶をはかります。
5. 学校生活の基礎集団である学級を重視し、学級活動の充実をはかります。
6. 国際理解教育、人権教育、福祉教育、環境教育の充実をはかります。
7. 生徒会活動をより自主的、より活発に、生徒のための生徒会活動となるように努めます。
8. 部活動の充実に努めます。
9. 学校行事等のねらいを明確にし、内容の充実をはかります。

改善の視点

取組目標

1. 一人ひとりを大切に、自他の尊重をはかれる教育をおこなう必要があります。

「明るく元気に、笑顔で挨拶」ができる生徒の育成を目指します。

あらゆる差別を許さない生徒の育成に努めます。

- ・ いじめ、差別の根絶の第一歩、話を聞く姿勢を育成していきます。
- ・ 職員と生徒との信頼関係を築き、いじめや差別のない、生徒一人ひとりが、安心して、明るく生活できるあたたかい学級、学年、学校づくりに努めます。
- ・ 人権感覚を養うため、3年間を見通した系統的な学習プログラムを計画します。
- ・ 日々の教育相談に加え、長期休業後に教育相談日を設けます。
- ・ 保護者とともに教育を行う姿勢を大切にするため、家庭訪問、三者面談、進路面談を実施します。

2. 協力しておこなう活動や体験的活動の充実をはかる必要があります。

生徒が中心になり、計画、準備、実行できる学校行事を行ないます。

- ・ 代表的な学校行事「合唱祭」、「HAMA杯」(体育祭)、「芙蓉祭」(文化祭)、「3年生を送る会」、「新入生を迎える会」を生徒の委員会が企画運営できるよう支援します。また、1年生の「校外学習」、2年生の「自然教室」、3年生の「修学旅行」という校外行事にも生徒が積極的に参加できる体制づくりに努めます。これらの行事を生徒の手で運営する中で、生徒相互の協力、協調性、助け合う気持ちを育ませ、成就感や、達成観を感じとる事ができるようにします。

3. 学び方の基本と基礎的な学習内容の定着につとめる必要があります。

「学び合い」を大切にします。

「個に応じた指導」を実践します。

- ・ 数学、英語、理科の授業で「少人数学習」や「TT」を取り入れた授業を実践します。
- ・ 日々の学習相談に加え、相談活動の定着を図るため「学習相談日」を毎月2回、「4日連続の学習相談日」を年間7回実施します。基礎学力の向上を目指し、指導の工夫・改善に努めます。学習態度(チャイム席、挨拶、提出物等)の改善に努めます。「読書」の時間を週2回設定し、読解力向上に努めます。

<p>4. 自らの生き方を見つめる教育をすすめる必要があります。</p>	<p>生徒が自分の可能性を信じ、自立心と、豊かな創造力の伸長をめざし、自ら学びとろうとする態度、生涯にわたって学び続ける態度を育てます。 3年間を見通した「進路指導計画」を基に自己理解を図る「ポートフォリオ」作りをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生から3年生まで一貫して、自己の評価、成績、部活動の表彰、習い事等自分の成長の記録をまとめた「ポートフォリオ」を作成し、それにより自分の長所、短所、能力、適性、将来目指すものなどの自己理解をする力を養い、またそれを表現し相手に自己アピールする力を養います。キャリア教育の充実をめざし計画的に取り組みます。 1年次の「職業調べ学習」、2年次の「職業体験学習」を実践する事で、進路への関心、意欲を高め、望ましい職業観や、勤労観を養い、自分の将来を考える力を養います。 2年生の1月後半に3日間の職業体験を実施します。
<p>5. まちとのかかわりを通して、まちを愛する気持ちを育てる必要があります。</p>	<p>「自然教室」でステイ先の人々との心とふれあい、人の温かさを感じ取れる活動を推進します。 「職業体験学習」を通し、杉田の街で働く人との関わり、自分が生きているまちについて考えます。 地域行事への生徒参加、学校行事への地域参加を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域行事にボランティアとして参加したり、地域の中の一人として行事に参加協力する気持ちを育てます。 「筋肉番付」では、小学生や地域の方々とはふれ合うことにより地域のお兄さん・お姉さんとしての自覚がもてるよう努めます。

<p>人材育成の考え方</p>	<p>新しい学力観、教育の近代化・合理化の中で、意志の疎通をはかり、思いやりと相互信頼を基盤にチーム力の向上を図れる教職員の育成に努めます。 計画的な校内研修の実施と日常の研修に努め、研修と実践の相乗作用により最大の教育効果を上げられるよう努めます。 教育に情熱を持ち「子どもが好き、学校が好き」である教職員の集団形成に努めます。</p>
<p>平成20年度の重点取組項目</p>	<p>基礎基本の定着、個に応じた指導の充実につとめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択制授業や少人数指導による授業の充実を図ります。 教育相談、学習相談、スクールカウンセラー等の充実を図り、生徒理解に努めます。 人権教育の充実を図ります。 特別支援教育の充実を図り、個別支援学級、国際理解教育について理解を深めます。 伝統を大切にしながら、新教育課程への移行がスムーズに行えるよう改革改善に努めます。 授業参観、懇談会、各種説明会等の充実を図り情報の発信に努めます。 小学校との連携をさらに深めるための検討と実践に努めます。 家庭、地域と情報を共有し連携を深めます。 部活動の充実を図ります。加入率アップとともに規律ある活動に努めます。
<p>これまでの取組結果</p>	<p>各学年の授業全般で生徒の学習に対する姿勢や意欲の向上が見られました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着を図るため、夏休みの学習会を各学年で実施しました。 基礎基本の定着していない生徒へは継続指導の必要があります。 昨年同様、人権教育推進校としてより高い人権感覚が身につくよう取り組みました。 外部講師の助言を取り入れ、人権感覚の向上に努めました。 数学・国語・社会の授業を通じた人権教育の研究授業にも取り組みました。 不審者対応等ではPTAや諸機関との連携を積極的に図り対応しました。 小中連携事業の維持改善と合同研修会(10月)の取り組みを計画しました。 学校だより、学年だより、保健だより等を計画的に発信し、学校の情報公開とその共有化に努めました。 各部活動において、技術面と生活面での向上が見られました。また、市・区大会で優秀な成績を収めました。
<p>教育懇話会等の意見</p>	<p>学校が落ち着いてきょうに思います。また、生徒たちが進んで挨拶してくれます。学校の各説明会が丁寧に行われていて、用意された資料も良いです。各学年の校外行事をビデオで紹介してくれ、現地の活動の様子がよくわかりました。地域行事への生徒の参加人数が増えました。今後は、参加の少ない防災訓練等にも参加してもらいたいと思います。先生が自分を磨くことで、生徒も良くなるので努力してほしいです。生徒が良くなっているのは、家庭のしつけや地域が良いと言う面があると思います。</p>